

歴戦の猛者達が集うハイレベルなトーナメント 衣浦シーバストーナメント最終戦開催!! 10/23(日) in 衣浦マリーナ



取材協力:衣浦マリーナ 〒447-0864 愛知県碧南市道場山町3丁目21番地 TEL:0566-41-2558 URL km55.jp/



最終戦 優勝 TEAM TORPEDO'S (246.5P) 準優勝 INSANITY (244P) 3位 チームTBC (236P)



4位 TEAM K2 (233.5P) 5位 チーム めがね (179P) 表彰式には多くの参加者が駆けつけた。美味しい食事も豊富に提供されていた。



年間優勝はINSANITY。最終戦でもポイントを積み重ね、見事優勝の座に輝いた。非常にハイレベルなトーナメントで、この結果は見事と言うしか無い。



入賞者には釣り具を中心に豪華な景品が手渡されていた。衣浦シーバストーナメントはレベルが高い分、入賞が難しい。しかし、その分景品が豪華なのである。



スタートフィッシングと同時に参加艇が一齐にスタート。各艇はそれぞれのポイントに散らばり、ターゲットのシーバスを狙ってキャストを繰り返す。



今大会にはヤマハ190 FSH Sportが参戦!!アングラーはメガバスオーシャンスタッフの岡本順哉さん(43歳)と、杉浦永さん(17歳)。ボートの安定感は抜群に良く、パウで2人並んでのキャストも可能だ。走行性能も高くポイント間の移動でもストレスを感じない。バックレストを反転すると後方での釣りも楽にできる。



今回アングラーとして190FSHに乗船して頂いた岡本さん(左)と、杉浦さん。当日は試乗会も開催され、多くの参加者から高い関心を集めていた。

確かな腕を持つアングラーが集結し、非常に熾烈な戦いが繰り広げられるシーバストーナメント。それが今回ご紹介する衣浦シーバストーナメントである。愛知県碧南市にある衣浦マリーナで開催されたこの大会は今回が最終戦となり、全14艇、約40人のエントリーがあった。今大会にはチームオーシャンズとしてメガバスオーシャンスタッフの岡本さんと弱冠17歳ながら、釣りの腕前は相当なスキルを持つ杉浦永さんがタッグを組み、ヤマハ 190 FSH Sportでエントリー。迎えた大会当日のコンディションは強風が吹くラフなコンディション。こうなると多少船首をコツと岸壁に当てても理想の位置にボートを保ちたいところだが、さすがに試乗艇ではそれができない。絶妙な操船で良いポジショ

ンについても強風が邪魔し、厳しい釣りとなった。それでもパウから2人がキャストできる広さと抜群の安定感、快適な走行性能と船内の効率的なレイアウト、更には風流れしにくい船体を2人は絶賛しており、ボートの評価は更に高まった格好だ。そして、肝心の結果はというと、最終戦を制したのはTEAM TORPEDO'S。リミットである5本を全て揃え、計246.5cmで見事優勝の座に輝いた。そして、最年間優勝に輝いたのはINSANITY。こちらも最終戦2位でしっかりとポイントを加算し、最難関とされる年間優勝を掴み取った。これで今年の衣浦シーバストーナメントは全て終了。来年も引き続き是非多くの人にエントリーして頂き、衣浦シーバスを益々盛り上げて欲しいと思う。